レイカディア通信

第8号　2021年03月19日発行

シニアの地域活動特集号

データで見る

レイカディア大学卒業生の地域活動等の状況について

―令和２年度滋賀県レイカディア大学卒業生活動状況等調査報告書から（概要）

「特定非営利活動法人 外出支援ボランティア スマイル」のみなさん

「瓜生川桜の花路を楽しむ会」のみなさん

滋賀県レイカディア大学卒業生が地域で活躍されています！

滋賀県には60歳以上の方が入学できる滋賀県レイカディア大学があります。この大学は、昭和53年に開校し43年、約6200人の卒業生を輩出しています。今回、直近の卒業生を対象としたアンケート調査から見えてきた「地域活動の実施状況やその意識」などの結果の概要と具体的な活動例を紹介します。

もくじ

02.〜03. データで見るレイカディア大学卒業生の地域活動等の状況について
―令和2年度 滋賀県レイカディア大学 卒業生活動状況等調査報告書から(概要)

04.〜05. 「前期高齢者が後期高齢者を支える、こんな社会を実現したい！」
―外出支援ボランティアの活動をとおして、地域に貢献する
西村　明夫さん

06.〜07. 目指せ！東近江版！！ 桜の通り抜け
―桜の記念植樹をとおしてまちづくりを考える
須田　進一さん

ひたすらなるつながり
社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会　レイカディア振興グループ　TEL:077-567-3900
〒525-0072　滋賀県草津市笠山7丁目8-138　FAX:077-567-3906

特集 データで見る レイカディア大学卒業生の地域活動等の状

令和２年度 滋賀県レイカディア大学 卒業生活動状況等調査報告書（概要）から

この調査は、レイカディア大学の卒業生を対象に、地域活動等の実施状況やその意識等について、定期的に調査しているものです。コロナ禍という特殊要因のある中での調査となりましたが、その結果の概要を紹介します。シニアのみなさま、どうぞご参考としてください。

1.卒業生の地域活動の状況

（注）表記　レイ大▶滋賀県レイカディア大学　p▶ポイント

① 地域活動の実施状況は？

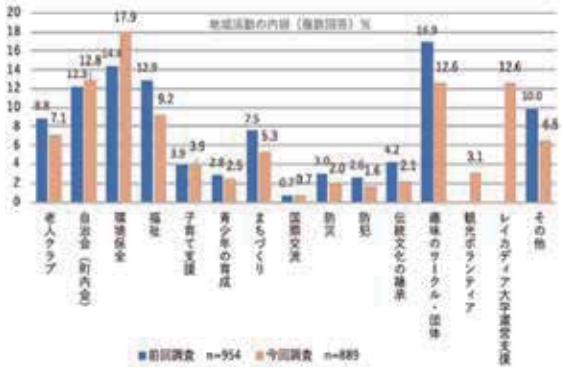
卒業生の約９割の人が何らかの地域活動を行っている

「現在、何か地域活動をしていますか」の質問には、**87.9%**の卒業生が「している」と回答しています。前回調査からは2.6p低下していますが、卒業生の地域活動に対する意欲の高さがうかがえます。

② その地域活動の内容は？

環境保全活動が最多、以下、自治会活動、趣味の活動、レイ大運営活動と続く

「環境保全活動」は前回から3.5p増加。一方、前回最多の「趣味の活動」は4.3p低下。今回から、「観光ボランティア」と「レイ大運営支援」の選択肢が追加されました。



③ 地域活動による充実感は？

９割の人が、地域活動を行うことによる充実感を得ている

レイ大の目的のなかには「地域の担い手を養成」とありますが、卒業後、地域の担い手として活動することで、地域への貢献のみならず、活動者自身が充実感を得られていることが分かります。

● 地域活動の内容（ほんの一例です）

- ・地球温暖化防止運動、脱炭素社会の構築
- ・見守り活動、青少年育成に関する啓発活動
- ・公園等環境整備活動　・里山保全活動
- ・竹林整備、遊歩道整備　・間伐、剪定作業
- ・希少植物保護、外来種除去、海浜植物保護
- **・桜の植樹まちづくり**
- ・里山活動、里山体験サポート
- ・びわ湖環境森林活動
- ・傾聴ボランティア　・傾聴レクレーション
- ・高齢者見回り活動
- ・子ども食堂支援、食材提供の野菜作り
- ・車イスの点検、清掃
- ・認知症カフェ　・喫茶オアシス
- ・発展途上国の女性の健康と命を守る活動
- **・障害者送迎ボランティア**
- ・認知症についての正しい知識の普及活動
- ・骨髄バンクドナー登録勧誘説明員
- ・百才体操支援　・図書館ボランティア
- ・学校の教室の机・椅子窓等の消毒
- ・校内美化活動、剪定・除草
- ・児童の登校・下校時の見守り
- ・中山道を中心とした町づくり計画の策定
- ・夜間防犯パトロール、啓発活動
- ・交通安全啓発活動、交通安全教室
- ・観光ボランティア・ガイド　など

このうち２つの事例を次頁で紹介！

④ 地域活動を行うために重要なことは？

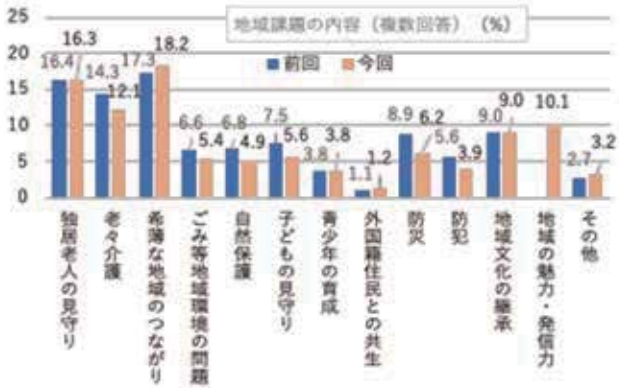
「活動情報の提供」や「仲間づくりの機会」「地域活動に関する学習の機会」が重要

これらのことは、レイ大在学中の学びのメニューに組み込まれていますが、卒業後もこれらのことを継続することが重要と考えられていることが分かります。

⑤ 地域課題の把握と取組状況は？

卒業生の約７割が「居住地域での課題」を認識しており、その過半数が対応している

「居住地域での地域課題の有無」には、70.8%の卒業生が「ある」と回答し、そのうち65.4%の人がその地域課題の解決に向けた取組みをしている（しようと思っている）と回答。



調査概要

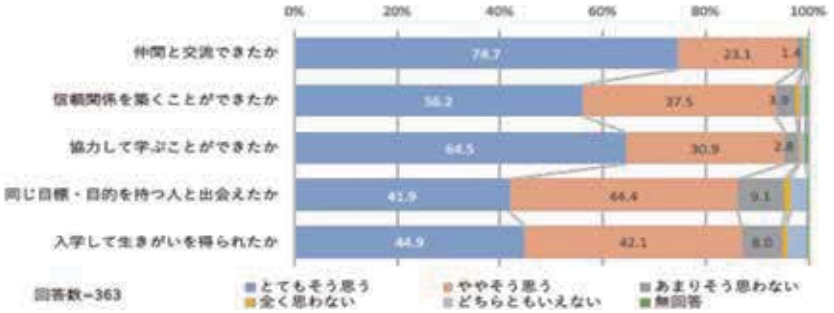
調査対象:第38期(平成27年～29年)から第40期(平成29年～令和1年)までの卒業生　485名
調査方法:郵送による調査票の配布および回収
調査期間:令和2年12月1日から12月18日
回収結果:配布数　485、　有効回答数　363、　有効回答率　74.8%
(前回調査)平成27年実施　第33期から第35期までの卒業生　544名　有効回答数(率):379(69.7%)

2.レイカディア大学から受けた影響

⑥ レイ大の学生生活で得られたこと

８割以上が、仲間との出会い、交流、信頼関係構築、協力した学び等ができたと回答

レイ大では、約20人のクラスを中心として能動的に学び、活動します。この２年間の学生生活が卒業後の活動や生活に良い影響を与えているものとうかがえます。



⑦ 入学前と卒業後での地域活動の意欲・関心の変化は？

約７割の卒業生が、「入学前より地域活動の意欲・関心が高まった」と回答

実際のところ入学時には地域活動に関心があまりない人も多くいますが、在学中の学びや活動を通して、仲間ができて、意欲・関心が高まる人が多いものとうかがえます。

⑧ 地域活動の意欲を高めた学びは？

講座などの学習が67%、クラス・クラブ活動等が17%、学校行事が15%

「学習」は、必修講座、選択講座、地域活動体験学習、課題学習の合計で、「学校行事」は大学祭やボランティアの日活動等、委員会活動は「クラス活動」に含みます。

3.コロナ禍による影響

⑨ 地域活動へのコロナ禍の影響は？

「影響がある」との回答が3/4となり、普段の地域活動に大きな影響があった

⑩ コロナ禍での活動の意識の変化は？

「感染対策を十分にして活動する」との回答が約60%で、「コロナ禍が収まるまで自粛する」が25%であった

⑪ コロナ時代における活動実践の課題

- 活動を行うことによる不安をはじめ、活動を行わないことによる意欲の減退や社会とつながりが希薄になる不安、活動ノウハウが継承できない不安など、心配の声が多数あった。
- ワクチンなどの対応が整うまで、活動を中止・自粛・縮小するという意見も多い。
- 一方、必要以上に恐れない、消極的になり過ぎないという積極的な意見もある。
- 感染予防を徹底し無理のない範囲でできることを行うという意見も多い。

今号では、レイカディア大学卒業生の地域活動の実態を調査結果から紹介しました。レイカディア大学での学びをきっかけに、卒業後、様々な活動にチャレンジしているアクティブシニアの姿をうかがい知ることができました。
この調査結果報告書の詳細版は、3月下旬に「びわこシニアネット」ホームページに掲載する予定です。是非ご覧ください！

「前期高齢者が後期高齢者を支える、こんな社会を実現したい！」

▲スマイルのみなさま　オレンジのユニフォームで颯爽と

Q.「外出支援ボランティア」は、聞き慣れない言葉ですが、この活動を行うことになったきっかけと活動内容を教えてください。

平成12年に介護保険制度がスタートし、平成17年の改正を経て、現在の制度が整ったと思います。この翌年にＮＰＯ法人「スマイル」は設立されました。

背景には、公共交通の利便性が悪く、自家用車を持たない高齢者や障害者にとっては、外出がしたくてもできないといった地域の状況（課題）があり、せめて通院や買い物のための送迎のお手伝いができないかと、ボランティア数名が自家用車で送迎する活動を始めました。それから、町の行政とも相談のうえで、介護保険の要介護者や要支援者、障害者手帳を持っている方々に対して送迎活動を行えるよう各種の整備を行い、平成18年に法人化しました。当時は、車を2台準備し、ボランティアメンバー数名でのスタートでした。私がこの活動に加わったのは平成26年からです。

活動内容は、「外出支援」の言葉の通り、要介護者・支援者、障害者の方の希望により、車で目的地まで送迎します。行先としては病院が60％以上で、次いで買い物が多く、親戚の家や墓参り、時にはスーパー銭湯など多岐にわたります。スマイルの活動の特徴は「ドアtoドア」であり、必要な方には、乗降の手伝いや買い物の付き添いも行っています。利用料金は、運営経費が賄えるだけの比較的安価な設定としており、ドライバーは原則、無償ボランティアです。

この活動を経験すると、ニーズの多さに驚かされました。初年度は、月平均で26件、年間271件の利用でしたが、30年度は、月平均137件、年間1,639件と利用者が年々増加し、現在も登録者数は増加の一途を辿っています（昨年はコロナの影響で利用者は減少しているものの登録者は増加）。現在では、車も4台に増え、ドライバーは30数名在籍しています。

Q.活動の運営で、ご苦労や課題はありますか。

現在は、「高齢化社会」ではなく、まさに「超高齢社会」といえます。スマイルの利用者が増えるのは当然です。団塊の世代が後期高齢者になる「2025年問題」が懸念されていますが、スマイルも同様の課題を抱えています。

現在、スマイルでは、安全面を最優先し、後期高齢者となる75歳をドライバーの定年と定めています。2025年には、今の30数名のドライバーが10名程度にまで減少し、逆に利用者は増加することが予想されます。これが1番の懸念材料です。私が74歳になる2023年までには、この問題の解決に向け、ボランティア要員を確保していきたいと考えています。

車椅子対応車▶

▲助手席自動昇降式介助車

（注）
この取組みを利用できるのは、竜王町在住の方のみとなります。

一外出支援ボランティアの活動をとおして、地域に貢献する

特定非営利活動法人 外出支援ボランティア スマイル　　理事長　西村　明夫さん

Q.活動を継続するためには自治体や企業との協力関係が必要と思いますが、いかがでしょうか。

役場や福祉行政には、この活動の必要性とボランティア人材の確保の危機感を共有してもらっています。ドライバーの募集を町の広報に掲載するなどの協力をしてもらっています。また、行政を通じて、活動に使用する車両2台を民間企業や団体から寄贈いただくことができました。これらの協力には感謝しかありません。

Q.この活動で、心掛けていることを教えてください。

車で目的地までお送りすることだけが使命ではありません。このサービスを利用する人は、何か困っている人や家族の支援に乏しい人が多く見受けられます。利用者に迷惑にならない適度な間合いで、ドライバーは、利用者に声掛けを行い、話し相手になることで、利用者の方に元気になってもらう、楽しかったと言ってもらうことが私たちの使命だと考えております。利用者の皆さんが送迎終了後「話してもらって少し元気になった」と言ってもらえた時は何よりも嬉しい瞬間です。

また、日々の活動の中では、問題もいろいろと発生しますので、毎月開催しているドライバー全員の定例会議で問題点を共有し、安全・安心の確保に向けた活動をできるよう心がけています。

Q.名刺の裏には、素敵な言葉(「今日の笑顔と明日の希望を運ぶことが私たちの使命です」)がありましたが、これは西村さんのこだわりでしょうか。

名刺を作るごとに私の思いを裏面に記載しています。自分のやりたいことを書いています。スマイルの活動をさせてもらって、私自身も充実しています。会社を離れた今はこの活動が生きがいです。人には承認欲求があり、これがなくなると何もない・・・。ボランティアとは、自分のために行う自己実現の活動です。近江商人の「三方良し」のように、自分が生かされ、相手も喜び、世間に役立つ。まさに、これが「スマイルの活動」なのです。

Q.この活動に参加したい場合、条件はありますか。

ドライバーは、75歳までの方で、利用者の送迎をするためには、2日間の「福祉運送ドライバー講習」を受講する必要があります。あとは、「利用者に元気になってもらいたい」というスマイルの理念に共感していただける方に仲間に加わっていただきたいです。

福祉有償運送とは～
平成30年度国土交通省自動車局旅客課文書から引用

身体障害者や要介護者など、単独ではタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な者に対して、非特定営利法人等が、営利とは認められない範囲の対価によって乗車定員11名未満の自家用車を利用して、登録された名簿の旅客に対して行うドア・ツードアの個別有償運送サービスです。

Q.シニアの方に向けてのメッセージをお願いします。

65歳から75歳までの前期高齢者の10年間は、シニアにとって、とても大切な時期だと思います。何もしなくても生きていけますが、私は、人として生まれてきた限りは、人のお役に立ちたいと思っていて、持論ですが、「前期高齢者が後期高齢者を支える社会」の仕組みづくりが必要だと考えています。

シニアの方々には、自分自身のためにも自分の能力や経験を生かせるボランティア活動に取り組み、少しでも社会に貢献していくことが、「高齢社会」における私たちの役割であると思います。一方、ボランテイアをしたくてもできない方たちも大勢おられると思いますが、毎日を無為に過ごさずに、目標を立て、自分の趣味を追いかけることなど色々とチャレンジしてみることです。「自分史」を書くなどでも良いと思います。毎日の生きがいを見つけて、毎日を楽しんでいただきたい。『今日を喜び、明日を楽しむ』精神で、家にこもらずコミュニティーに参加して、仲間と楽しむことが必要だと思います。

編集後記

この活動は、シニアの皆さんが支え支えられ、助け合っていて、地域の課題の解決にもつながる素晴らしい活動だと思いました。この通信がこの活動のお手伝いになればとてもうれしい・・というのが率直な感想です。「高齢社会」のこれから、この活動に参加する人が増え、様々な地域に広がることを願っています。

【連絡先】
特定非営利活動法人 外出支援ボランティア
スマイル事務局
☎080-6134-4010

一緒に活動したい方 大歓迎です。
ご一報ください。

環境　目指せ！東近江版！！桜の通り抜け ―桜の記念植樹をとお

Q1.「瓜生川桜の花路を楽しむ会」を発足させたきっかけを教えてください。

レイカディア大学園芸学科で学んでいた時、川崎先生の授業で、平田川(彦根市)の桜並木を見学しました。この並木は20年ほど前、川の左右に120本の八重桜を植樹したもので、今では見事な「桜の通り抜け」になっています。
大学で地域活動のリーダーをしていたこともあり、平田川のように桜を地元(東近江市佐野町)でも育てたいという思いから、「瓜生川桜の花路を楽しむ会」を立ち上げました。

Q2.どのような方がメンバーですか？今は何名くらいで活動されているのですか？

現在は役員11名、会員38名で活動しています。30-40代の若い人も多いです。高齢者だけの団体では後が続かないので、後継者育成の意味でも若者に繋いでいきたいと考えています。80代の方まで参加されています。

Q3.なぜ八重桜の植樹ですか？

滋賀県で有名な彦根城や海津大崎の桜は、ソメイヨシノです。ソメイヨシノは病気になりやすく、寿命が30年ほどといわれています。一方、八重桜は、品種が多く色も豊富で、寿命も200年以上だそうです。皆さんに長く楽しんでいただけることが決め手でした。参考にした平田川の桜も八重桜で、ソメイヨシノより10日ほど開花が遅いので、長く春を楽しめます。

Q4.どのように桜を植樹しているのですか。

オーナー制の記念植樹にしてもらっています。八重桜は種類も色も豊富なので、オーナーが好きな品種を選べます。オーナー制をとったことで、私の花という意識や愛情がとても強くありがたいです。

瓜生川未来予想図
uryuugawa miraiyosouzu

- H30.1月 桜の会結成
- H30.秋 廃川敷整備
- H31.3月 植樹のつどいⅠ
- R2.3月 植樹のつどいⅡ

Q5.植樹までに、ご苦労があったと思いますが。

植樹地の準備が大変でした。今回の植樹地は廃川敷で、瓜生川の源流(旧河川)です。現在の瓜生川は50年ほど前につけ替えられました。この間に廃川敷は、雑草が繁茂し、誰も入れないようなジャングル状態になっていましたが、ここを整備して憩いのスペースを作ることを決めました。土地は東近江市の管理地でしたので、嘆願書を集め市に要望したところ、東近江市で造成整備をしていただくことになり、後の管理は自治会等のボランティア団体で行うということになりました。
あとは、資金の手配ですね。補助金の申請や、賛助会員(企業様はじめ有志の方々)を募って寄付をしてもらう活動を行いました。初年度はこの活動が大変でしたね。

▲植樹地(廃川敷)整備前

▲整備後

▼草抜き

▼草刈り

▼水路整備

▲憩いの場づくり(ベンチ設置、看板づくり)

Q6.活動内容を教えてください。

まずは、草刈りや水路清掃を行い、植樹地を整備しました。その後、一昨年、昨年と2回に分けて34本の植樹が完了しています。並行して、看板や標柱を設置したり、ベンチを配置したりして、散策コースらしくなりました。あとは、植栽木の育成管理や、定期的な除草を行っています。
作業はみんなに声を掛け、無理のないように行っています。会員の中にはいろんな技術を持った人がいて、ベンチや看板の屋根の製作、ユンボでの整地など、自前で行い、快適な空間を作るためにそれぞれが無理せず楽しくやっています。本当に良い仲間に恵まれました。

瓜生川桜の花路を楽しむ会　須田進一さん

★東近江市

Q7.街の様子に変化はありますか？

まだ桜満開とはいきませんが、きれいな散策コースが整備されたことで、たくさんの方が歩いておられます。「瓜生川沿いの桜の成長を楽しみに歩いてる！」との寄稿もあり、喜んでいただけていると思います。

◀▲彦根市を流れる平田川沿いの桜

Q8.将来の目標をお聞かせください。

現在は34本の桜と低木200本を廃川敷に植樹していますが、20年後は平田川のような桜並木を目指したいと思っています。瓜生川の八重桜といわれるような、特徴を出していきたいです。
ここの桜は、まだ植えて1、2年。5年経たないとしっかり咲きませんが、その頃、桜まつりを行いたいと思っています。いきいきサロン（高齢者福祉ボランティア団体）、子供会、老人クラブ、自治会の役員、みんなが応援してくれています。大変ありがたい。地域の憩いの場として、咲き誇るのを楽しみに待ってくれています。

R3
芝桜・
クローバー播種

R5.4月頃
未来予想図Ⅰ
桜まつり

R20頃
未来予想図Ⅱ

Q9.この活動に参加したい場合の方法を教えてください。

桜の記念植樹は、一旦募集停止しています。植樹桜の管理や、芝桜の植栽、瓜生川沿いのクローバーの播種など、この一帯の保全活動のお手伝いをしてくださる方の参加を歓迎します。賛同してくださる方は「瓜生川桜の花路を楽しむ会」までご連絡ください。
私たちの「桜の植樹を通したまちづくり」は、平田川の活動を参考にさせていただきました。私たちの活動に興味がありましたら、是非ご連絡ください。地域の活動が広く波及して欲しいと考えています。

平田川沿いに「桜の通り抜け」を造る会事務局長
樹木医　川崎昭重様のコメント

立派な活動をされており感心しています。まだ桜の花は咲き始めですが、これから10年、20年後を楽しみに頑張ってください。きっと桜が地域の活性化や美化に大きく貢献されることと思います。また機会がありましたら是非寄せていただきたいです。

平田川桜の通り抜けについては公式ホームページをご覧ください　平田川桜の通り抜け　検索

編集後記

開発が進み、街が変わっていく中で、残し守るものを明確にして、街づくりに取り組む皆さんが、とても楽しく活動されている姿が印象的でした。（副会長の山本さんから、「須田会長はレイカディア大学で学んだ園芸技術や組織運営の知識を活用して、地域に溶け込んだ活動をされている」との話がありました。）須田さんの学びを実践に移す行動力、そしてその活動を支える会の皆さんの活動力が素晴らしいと感じました。

◀会長 須田進一さん（左）
◀副会長 山本俊一さん（右）

【連絡先】
瓜生川桜の花路を楽しむ会　会長　須田進一
☎050-5802-2885　FAX 090-7095-7755

令和３年度

https://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険　検索

全国200万人加入!!　日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類 ＼ プラン			基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円（限度額）	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術	65,000円	
		外来の手術	32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷		×	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金（対人・対物共通）		5億円（限度額）	
年間保険料			350円	500円

団体割引 20%適用済／過去の損害率による割増引適用

商品パンフレットは
コチラ

（ふくしの保険ホームページ）

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

送迎サービス補償（傷害保険）

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

福祉サービス総合補償（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者　社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

〈引受幹事保険会社〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL：03（3349）5137
受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、年末年始を除きます。）

取扱代理店　株式会社 **福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL：03（3581）4667　FAX：03（3581）4763
受付時間：平日の 9:30～17:30（12/29～1/3 を除きます。）

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〈SJ20-12303　2020.12.28 作成〉